

ガスパワー発電機（エネポ）

1 準備物



防災倉庫内にある「ガスパワー発電機（エネポ）」と持参した「カセットボンベ」を用意します。

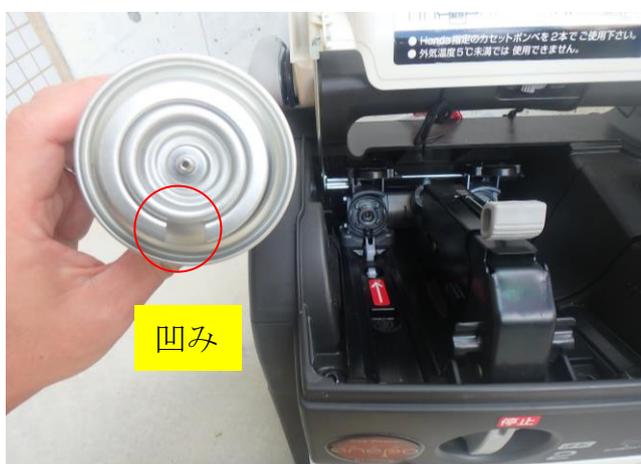
発電機は平坦で固い場所に置いて使用します。

※カセットボンベについては、「いざ、という時の災害時」に使用できるよう備蓄しておりますが、「行事・訓練等の平時」で使用する場合は、必要分を自主防災会等で準備し使用するようお願いいたします。

2 ガスボンベのセット



ボンベカバーを開け、操作レバーが【解除】の位置にあることを確認します。



カセットボンベの先端の凹みを下側にし、本体に差し込む位置を確認する。



カセットボンベを先端から奥に差し込みます。同様の手順で2本目もセットします。



操作レバーを【解除】から【固定】にスライドさせ、ボンベカバーを閉じます。

※【固定】にスライドできない場合は、カセットボンベが正しくセットされていない状態です。カセットボンベを再度入れなおすか、カセットボンベを回転させて、差込位置で止まればセット完了です。



3 運転



エンジンスイッチを“運転”の位置に合わせます。





後方に人がいないことを十分確認し、本機のボンベカバー部を押さえながら、始動グリップ（リコイルスタータハンドル）を静かに引いて重くなるところで止め、勢いよく引っ張ります。エンジンがかかれば始動グリップをゆっくり戻してください。
 ※一度でエンジンがかからない場合は、かかるまで勢いよく引っ張ってください。

4 電気を使用する



接続電気機器のスイッチが切られていることを確認し、コンセントへ使用機器のプラグを差し込みます。



接続電気機器のスイッチを入れます。正常運転の場合は、出力表示灯（緑）が点灯し続けます。



過負荷運転の場合や、使用機器が異常を起こした場合過負荷警告灯（赤）が点灯し電気が取り出せなくなります。

このときエンジンは停止しませんので、エンジンスイッチを“停止”の位置に戻して、停止してください。

5 停止



接続電気機器のスイッチが切られていることを確認し、コンセントから使用機器のプラグを抜きます。



エンジンスイッチを“停止”の位置に合わせます。

【訓練等で使用し停止後、保管する場合】

保管をする場合は、本体内のガス抜きを行わないと、事故や故障の原因となりますので、次の手順でガス抜きを行います。



運転停止後、ボンベカバーを開け、操作レバーを【固定】から【解除】にスライドさせ、カセットボンベを2本取り外します。



エンジンスイッチを“運転”の位置に合わせます。



再度、始動します。
後方に人がいないことを十分確認し、本機のボンベカバー部を押さえながら、始動グリップ（リコイルスタータハンドル）を静かに引いて重くなるところで止め、勢いよく引っ張ります。エンジンがかかれば始動グリップをゆっくり戻してください。
※一度でエンジンがかからない場合は、かかるまで勢いよく引っ張ってください。



カセットボンベが入っていない状態で運転（残留ガスでの運転）し、発電機内に残ったガスをすべて使い切ります。
※ガスがなくなれば自動的に停止します。



エンジンが自動的に停止後、エンジンスイッチを“停止”の位置に合わせます。

6 オイルを補給する

本体内のオイル不足が原因で、エンジンが始動しない場合や停止してしまった場合は、次の手順でオイルを補給してください。



メンテナンスカバーの取付けネジをゆるめて、カバーを取外します。ドライバーがない場合は硬貨等を使用してねじをゆるめます（※あくまで緊急時の対応です）。



オイル給油キャップを外し、オイル給油口の口元までオイルがあるかを確認します。



オイルが少ないときは新しいオイルを口元まで補給します。
防災倉庫内にある「オイル」と「注油機器」を使用します。



補給後は、オイル給油キャップをゆるまないように確実に締め付けます。
最後にメンテナンスカバーを確実に取付けます。



※オイル給油キャップは確実に締め付けてください。締め付けがゆるいとオイルが漏れることがあります。



【エンジンオイルの不足を警告する機能】

運転を開始した際または運転中に“オイル/転倒警告灯”に赤ランプが点灯した場合は、エンジンを停止（または自動的に停止）し、オイルを補給してください。

7 発電機の使用例

【通常運転の場合】



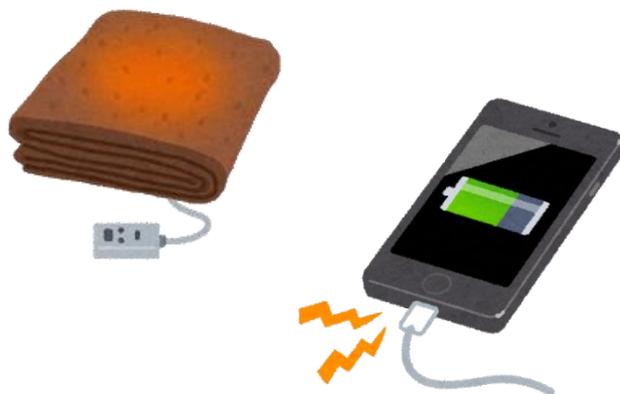
出力：900VA
 連続運転可能時間：約1.1時間
 使用例：ハロゲンヒーター【800w】、
 電気ポット（3L）【700w】、
 IH炊飯器（3合炊き）【700w】

【エコスロットル運転の場合】



スイッチを「入」にすれば、エコスロットル運転になります。

※エコスロットル運転とは、接続機器の消費電力に合わせてエンジンの回転数を最適に制御することで運転時間を向上させる運転方法です。



出力：225VA
 連続運転可能時間：約2.2時間
 使用例：スマートフォン充電器【15w×4台】
 +
 LED投光機【20w×3台】
 +
 電気毛布【50w×2枚】